

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1032.50	2021/11/22
High	1143.54	2021/11/22
Low	951.98	2021/11/26
Close	958.18	2021/11/26

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3784.00	2021/11/22
High	3829.00	2021/11/22
Low	3474.00	2021/11/26
Close	3485.00	2021/11/26

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2060.00	2021/11/22
High	2080.00	2021/11/22
Low	1702.00	2021/11/26
Close	1750.00	2021/11/26

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7541.00	2021/11/22
High	7628.00	2021/11/22
Low	6205.00	2021/11/26
Close	6364.00	2021/11/26



ニュースエクスプレス

水素製造量が世界最大級の装置 旭化成、25年商用化

旭化成は2025年に再生可能エネルギー由来の電気で作ることができる装置を商用化する。水素製造量で世界最大級の装置で、製造する水素価格を30年に1キログラム330円と現在の流通価格の約3分の1へ引き下げを目指す。水素を活用した事業の採算が見込みやすくなり、脱炭素のカギを握るとされる水素供給網の整備が進む可能性がある。

脱炭素の流れを受けて水素需要は拡大が見込まれており、その供給網の中核を水素製造装置が担う。

旭化成は福島県で、水素の製造量を決める最大出力で10メガワットの装置の実証実験を実施しており、これを基に25年から受注を始める。欧州や中東などに売り込む。

大型装置の量産を進めることで、現在1キロワットあたり20万円とされる装置価格を30年に5万円に下げる。水素価格を流通価格の3分の1程度に抑えられ、政府が水素普及に向けて掲げる30年目標と同程度になる。

旭化成は複数の装置をつなぐ技術開発も進め、20年代後半には100メガワット規模に大規模化する計画だ。

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZ077853740V21C21A1EA2000/?unlock=1>

合併吸収と投資拡大、将来のPGM供給の増加につながるか

PGM 鉱山各社が財政状況の強化と分散に乗り出す中で、南アフリカでは合併吸収(M&A)と休眠鉱山への投資が活発化している。ノーザム・プラチナは、インパラ・プラチナム(IMP)が取得すると公表されていた Royal Bafokeng Platinum (RBP) 株を32.8%、さらには34.9%にまで増やす権限付きで取得した。これにより、ノーザム・プラチナは地表から近くて深度が浅く寿命の長い鉱山を手に入れ、将来はそれも合わせた業務展開ができる可能性がある。RBP はブッシュェフェルト複合岩体の西側リムに BRPM と Stylidriftという二つの鉱山を運営しており、プラチナを多く含むメレンスキー鉱山は年間約8.1トンのプラチナを産出する。Stylidrift 鉱山は機械化が進んだ新しい鉱山で安定操業に向かっている。ノーザム・プラチナの年間精錬プラチナ生産は12.4トン以上である。

Heraeus Precious Appraisal

白金、21～22年に供給超過 生産量回復で

プラチナ(白金)の供給超過が長引く可能性が出てきた。調査機関のワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(WPIC)がまとめた世界の需給見通しによると、2021年は24トンの供給超過になる見通しだ。

鉱山生産の回復や投資需要の減少などで、9月時点の予測に比べ供給超過の幅が18トン広がる。22年も20トンの供給超過になるとした。

20年は28トンの需要超過だった。21年の鉱山からの供給量は前年比25%増える。新型コロナウイルス禍や鉱山トラブルで20年に生産が減った反動で、大幅に生産が回復する。リサイクルも含めた総供給量は252トンと前年を40トン上回る見通しだ。

需要は5%減少し228トンになりそうだ。投資需要が85%減の7トンに落ち込むことが大きい。配当利回りの高い白金鉱山会社の株式に投資人気が集まり、白金の上場投資信託(ETF)を売却する動きが出た。自動車触媒向けも、半導体不足による自動車減産などで振るわない。

22年の総供給量は256トンを見込む。総需要は21年より増加するものの236トンにとどまりそうで、供給超過が続くとみられる。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB24CRR0U1A121C2000000/?unlock=1>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 先週、WPICは2021年Q3のQuarterlyを発表し、2021年通期および2022年第1四半期の予測が修正された。2021年と2022年のプラチナは余剰。在庫取り崩し、供給量増加、投資の低迷が旺盛な需要を相殺。詳しくは下記のリンクからご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/832946/WPIC_PR_PQ_Q3_2021_2021124_JA.pdf



(@wpicjapan)